

金糞岳北尾根敗退の報告 予想外の雪の少なさに絶句

メンバー：K.N H.M A.T K.A K.O(記録)

コースタイム：林道駐車地 7:20～支尾根稜線 9:15～990m地点 10:30～主稜線(11:30 着 11:45 発)～
林道駐車地 14:10

このところ週末毎に悪天が続いている。この週末も天気判断が非常に難しかった。台風並みに発達した低気圧の影響が如何ほどのものか。土曜日朝から天気図をチェックした上で、風の影響はあっても天候は回復すると判断、予定通り金糞岳北尾根に行くことにした。土曜日の夕刻は道の駅「湖北みずどりステーション」にそれぞれの車で集合した。現地の天候は雨混じりの強風、時折、琵琶湖の湖面から吹く強風で車が大揺れし春一番がすでに来たようであった。10時半頃まで明日からの行動の打ち合わせをしながらMさんの車内で小宴会を開く。このようなときキャンピングカー(もどき)があると大変重宝する。Mさんに感謝・感謝。

翌日曜日は早朝から 303 号線を走り八草トンネルを抜けて浅又川の林道に入る。303 号線はこの新トンネルのおかげで岐阜県まで今年の冬から通行可能となっている。林道は雪が少なく、かなり奥まで車で入ることができた。無理をすればもっと奥まで行けるぐらいの積雪量であった。ここに来て季節の巡りが1ヶ月は早いようである。雪不足を心配していたが、ここまでとはと唖然とした。これから先の下部のアプローチが思いやられた。そして、徒渉は予想していたが、写真を見てもわかるように、ここまでとは・・・絶句！！そして登りも下りも結局、藪・藪・藪・藪・・・沈黙！！

結局、下部で徒渉やブッシュ漕ぎに時間を食ってしまったこともあり、主稜線との合流点(地図参照)まで行ったが、金糞岳ピークは諦め、引き返すことにした。このあたりまで来ると積雪量も1mを越え山スキーによい条件になってきたが、次回の捲土重来を期すことにした。

ところで、天和山の報告に、藪山にはミニスキーが良いと書いたが、今回のように雪が少ない上に腐ってしまった状態では、今回持参しても役に立たなかったように思う。下りでは山スキー板を履いていても何度か足を取られた。長くても難儀、短くても難儀、K.Aさん以外はどうしようもなく不愉快な状態であった。マニアックなK.Aさんだけは喜んでた・・・??

最近知ったが、このところ、K.Aさんはキノコに凝っているらしい。登りの途中ルートを外してキノコ観察をしていた。前夜の車中の小宴会でも、以前蓮華温泉からの山スキーの帰りに、他のパーティの山菜キノコ鍋に道草をして下山が遅れ、Mリーダーから叱られた話で盛り上がった。次回はキノコツアーを是非よろしく。それと藪を避けながら降り立った沢筋でNさんがわさびを収穫した。オッ、と思うと同時に、雪解け時期になるとそんな楽しみが出てくるなと思った次第である。これも一ヶ月も早い春の訪れを感じさせた一コマであった。



ザックに板を付けて徒渉



北尾根主稜線にて行動打ち切り



主稜線から金糞岳を望む



藪の中の雪を選んで下る



出発地点に戻ってきました

次ページに行動軌跡を表示

H.MさんのGPS記録



ホームページへ <http://allmt.hp.infoseek.co.jp/>